

山口新聞

平成27年12月18日(金)

NO.183



農地・水・環境

守ろう 地域の手で



183

農地、祭りも後世に伝承

真木地域資源保全会(長門市)

上役員の皆さん
下で伝統的なお祭
り「君が代踊り」



当会は長門市南東部の中山間地域にあり、耕作面積約50haを活動範囲として2014年に設立した。

当地区も高齢化、後継者不足といった問題を抱え、そのため交付金を有効活用。農道舗装などハード面の整備を

継続的に行い、微力ながら地域を盛り上げている。

いかにして作業の軽減、生産性の向上を図るかが、当会の今後の課題となっている。

四方を山に囲まれた自然豊

かな地域では寒暖の差が大きく、おいしいお米ができる。白オクラやはなっこりー、田屋ナスなどの長門伝統野菜を栽培する農家も多数あり、特産品として国内外に積極的にPRしていきたいと考えている。

また、「君が代踊り」「白雉伝説」の由緒ある伝統的な二つのお祭りは、地域が一丸となって盛り上がる自慢のひとつ。先祖代々受け継いできた農地に加えて、これらを後世に伝えていくことも自分の世代の責務だと考えている。

(会長、岩本唯史)

【メモ】会長＝岩本唯史
△会員＝53人、農家(53人)、
真木自治会、真木消防団△
設立＝2014年11月23日
△連絡先＝長門市真木50
4、岩本唯史さん、電話0
8037・255・4131
II金曜日掲載II